



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月12日

上場会社名 株式会社第一興商 上場取引所 東
コード番号 7458 URL <https://www.dkkaraoke.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 保志 忠郊
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 西原 康尚 (TEL) 03 (3280) 2151
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	114,439	4.2	14,320	△5.2	14,505	△7.5	13,503	28.2
2024年3月期第3四半期	109,864	16.2	15,098	55.8	15,683	53.2	10,531	17.0

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 13,956百万円(28.8%) 2024年3月期第3四半期 10,839百万円(15.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	127.85	127.51
2024年3月期第3四半期	97.88	97.69

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	202,631	112,969	55.0
2024年3月期	211,386	108,991	50.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 111,473百万円 2024年3月期 107,581百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	28.00	—	29.00	57.00
2025年3月期	—	28.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	29.00	57.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	152,700	4.1	18,800	1.1	18,900	△3.4	16,200	28.9	155.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	109,468,400株	2024年3月期	109,468,400株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	4,980,507株	2024年3月期	2,613,807株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	105,625,609株	2024年3月期3Q	107,597,202株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年12月31日、以下「当第3四半期」という)におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善を受けて個人消費の持ち直しが見られたほか、インバウンド需要の増加などの後押しもあり、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、海外での政情不安や為替相場の変動、物価上昇といった懸念も継続しており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当カラオケ業界におきましては、主力市場であるナイト市場・カラオケボックス市場を中心に、全体として市場環境が緩やかに改善するなかで、各商圈において需要が中心地へ集中する傾向はより顕著になりつつあります。

このようななか、各事業におきまして諸施策を実施した結果、当第3四半期の業績は、売上高は第3四半期における過去最高となる114,439百万円(前年同期比4.2%増)となりました。利益面におきましては、ベースアップに伴う人件費の増加や、各事業への設備投資に伴う減価償却費の増加などの影響により、営業利益は14,320百万円(同5.2%減)、経常利益は14,505百万円(同7.5%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、特別利益が前年同期と比べ5,792百万円増加したことなどにより、13,503百万円(同28.2%増)となりました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	109,864	114,439	4,575	4.2%
営業利益	15,098	14,320	△778	△5.2%
経常利益	15,683	14,505	△1,178	△7.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,531	13,503	2,971	28.2%

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(業務用カラオケ)

当事業におきましては、主力市場であるナイト市場及び成長市場であるエルダー市場を中心として緩やかに改善が進み、当第3四半期末のDAM稼働台数は、前年同期比2%増となりました。

そのようななか、市場ごとの施策を推進し、DAM稼働台数の増加に努めるとともに、前期に引き続き賃貸機器の新機種への入替えを推進することにより、安定的収益基盤の強化に努めました。また、ライブ映像・アニメ映像・ミュージックビデオなどの映像コンテンツをさらに充実させることにより、カラオケDAMの商品力強化を図りました。

エルダー市場においては、「歌うこと＝健康」という認知が広がり、介護施設等への訪問営業やオンラインコンサートの実施などを通じてエルダー市場専用機である「FREE DAM LIFE(フリーダムライフ)」の拡販と、介護現場における職員の負荷軽減に繋がる新機能の訴求を進めました。

以上の結果、2023年4月に発売した「LIVE DAM AiR(ライブダムアイアール)」の新商品効果が剥落し、卸売を中心とした商品販売売上が前年同期に及ばなかったものの、機器賃貸件数及びDAM稼働台数の増加に伴ってストック収入が増加したことにより、売上高は前年同期比1.1%の増収となりました。利益面におきましては、商品販売粗利が減少したほか、賃貸機器の入替え推進に伴う原価や販管費が増加したことなどにより、営業利益は前年同期比7.6%の減益となりました。

なお、2025年4月にはDAMの新たなフラッグシップモデルを発売予定であります。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	45,950	46,476	526	1.1%
営業利益	9,927	9,176	△750	△7.6%

(カラオケ・飲食店舗)

当事業におきましては、カラオケ9店舗、飲食12店舗の出店、及びカラオケ8店舗、飲食13店舗の閉店を行ったことにより、当第3四半期末の店舗数はカラオケ507店舗、飲食158店舗となりました。なお、飲食店舗の出店・閉店にはブランド変更や複合店の統合を含みます。

店舗の集客について、前期からの上昇傾向が下期にかけてやや緩やかにはなったものの、当第3四半期の既存店売上高はカラオケ店舗・飲食店舗とも前年同期比3%増となりました。

このようななか、ビッグエコー店舗においては“BIG SMILE, BIG ECHO. 歌おう、笑おう、みんなと motto”をスローガンに掲げ、メーカー直営店としてカラオケ機器、音響設備のクオリティを高めるとともに、店舗リニューアルの推進により綺麗で快適な店舗環境の構築を図りました。また、自動受付機・精算機の導入を促進して利便性の向上を図るほか、多様なアーティストやアニメ作品とのコラボレーション企画等を積極的に展開し、カラオケを通して様々な喜びと楽しさの創出に努めました。

飲食店舗においては、予約受注が好調に推移するなかで、お客様の意見を簡便に収集・数値化できるシステムを活用した顧客満足度の見える化を進め、店舗環境、接客サービス、料理のクオリティ向上を図りました。また、12月には駅直結の大型商業施設KITTE博多へお鮓と天ぶらの食べ放題「鮓やハレの日」を、京都ポルタへ大衆蛇口酒場「ぎん天」をオープンするなど、幅広く集客の獲得を推進しました。

以上の結果、売上高は前年同期比3.1%の増収となりました。利益面におきましては、店舗設備のリニューアル投資や人件費の増加などの影響により、営業利益は前年同期比8.4%の減益となりました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売 上 高	48,446	49,937	1,490	3.1%
営 業 利 益	5,619	5,144	△474	△8.4%

(音楽ソフト)

当事業におきましては、新人アーティストの発掘とヒット曲の創出に努めるとともに、音楽出版事業にも注力することにより、堅実な収益モデルの構築に努めました。また、プロフィギュアスケーター羽生結弦の公演を映像化した『プロローグ』『G I F T』の販売が好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は前期に行った株式譲渡によってテレビ番組制作事業が剥落したことにより、前年同期比14.7%の減収となりましたが、CD・DVD等の商品販売や音楽出版事業については堅調に推移し、営業利益は前年同期比11.1%の増益となりました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売 上 高	4,899	4,179	△719	△14.7%
営 業 利 益	249	276	27	11.1%

(その他)

当事業におきましては、新たな収益の柱とするべく「ザ・パーク」ブランドで展開するパーキング事業の業容拡大が進展し、前期に子会社化した㈱クレストも含め、当第3四半期末時点で3,700施設、41,000車室を超える規模に拡大いたしました。また、「スターデジオAir」等で展開するBGM事業や、家庭用カラオケサービス「カラオケ@DAM」についても堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高はパーキング事業収入が増加したことなどにより前年同期比31.0%の増収となり、営業利益は前年同期比62.0%の増益となりました。

(百万円)				
	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売 上 高	10,568	13,845	3,277	31.0%
営 業 利 益	1,151	1,865	713	62.0%

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ8,754百万円減少し、202,631百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産では現金及び預金が11,166百万円減少し、受取手形及び売掛金が1,330百万円及びその他に含まれる前払費用が779百万円それぞれ増加しております。

固定資産では土地が5,158百万円減少し、カラオケ賃貸機器が1,102百万円、カラオケルーム及び飲食店舗設備が2,528百万円及び投資有価証券が788百万円それぞれ増加しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ12,732百万円減少し、89,662百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動負債では未払法人税等が1,311百万円及びその他に含まれる未払金が986百万円それぞれ減少しております。

固定負債では長期借入金が10,449百万円減少しております。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ3,978百万円増加し、112,969百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加13,503百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少6,038百万円及び自己株式の取得による減少3,999百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月8日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,694	38,528
受取手形及び売掛金	5,894	7,225
棚卸資産	11,216	10,367
その他	7,005	8,111
貸倒引当金	△331	△293
流動資産合計	73,479	63,939
固定資産		
有形固定資産		
カラオケ賃貸機器（純額）	9,122	10,225
カラオケルーム及び飲食店舗設備（純額）	10,875	13,404
土地	40,111	34,953
建設仮勘定	32,120	32,417
その他（純額）	7,002	8,375
有形固定資産合計	99,233	99,375
無形固定資産		
のれん	5,668	5,239
その他	5,616	5,589
無形固定資産合計	11,285	10,828
投資その他の資産		
投資有価証券	6,060	6,848
敷金及び保証金	14,341	14,524
その他	7,112	7,232
貸倒引当金	△126	△116
投資その他の資産合計	27,388	28,489
固定資産合計	137,906	138,692
資産合計	211,386	202,631

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,332	3,975
短期借入金	12,885	12,840
未払法人税等	4,746	3,434
賞与引当金	1,214	1,206
その他	13,735	12,816
流動負債合計	36,914	34,273
固定負債		
長期借入金	51,533	41,083
役員退職慰労引当金	666	598
退職給付に係る負債	7,986	8,249
資産除去債務	1,879	1,858
その他	3,414	3,598
固定負債合計	65,480	55,388
負債合計	102,394	89,662
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	4,211	4,211
利益剰余金	96,350	103,815
自己株式	△6,571	△10,571
株主資本合計	106,340	109,806
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,466	1,755
土地再評価差額金	△733	△558
為替換算調整勘定	188	166
退職給付に係る調整累計額	320	303
その他の包括利益累計額合計	1,240	1,666
新株予約権	374	442
非支配株主持分	1,035	1,054
純資産合計	108,991	112,969
負債純資産合計	211,386	202,631

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	109,864	114,439
売上原価	69,793	73,716
売上総利益	40,070	40,722
販売費及び一般管理費	24,972	26,402
営業利益	15,098	14,320
営業外収益		
受取利息	18	19
受取配当金	120	153
受取保険金	72	195
受取協賛金	140	126
為替差益	6	-
受取補償金	-	366
その他	451	524
営業外収益合計	809	1,385
営業外費用		
支払利息	104	320
為替差損	-	2
解約違約金	5	26
助成金返還損	-	653
その他	114	197
営業外費用合計	224	1,201
経常利益	15,683	14,505
特別利益		
固定資産売却益	2	4,414
投資有価証券売却益	-	1,380
特別利益合計	2	5,795
特別損失		
固定資産処分損	125	128
減損損失	81	277
特別損失合計	207	406
税金等調整前四半期純利益	15,478	19,894
法人税、住民税及び事業税	4,916	6,194
法人税等調整額	4	168
法人税等合計	4,921	6,362
四半期純利益	10,557	13,531
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	27
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,531	13,503

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	10,557	13,531
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	203	289
土地再評価差額金	-	175
為替換算調整勘定	84	△21
退職給付に係る調整額	△5	△17
その他の包括利益合計	282	425
四半期包括利益	10,839	13,956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,814	13,929
非支配株主に係る四半期包括利益	25	27

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	45,950	48,446	4,899	99,295	10,568	109,864	—	109,864
セグメント利益 (営業利益)	9,927	5,619	249	15,795	1,151	16,947	△1,848	15,098

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、パーキング事業、不動産賃貸及びBGM放送事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,848百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	46,476	49,937	4,179	100,593	13,845	114,439	—	114,439
セグメント利益 (営業利益)	9,176	5,144	276	14,597	1,865	16,462	△2,142	14,320

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、パーキング事業、不動産賃貸及びBGM放送事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,142百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額並びに負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	9,253百万円	10,704百万円
のれんの償却額	55	402
負ののれんの償却額	0	0